

# 令和3年度 家庭教育オピニオンリーダー研修③ 実施報告

実施日：令和3年9月15日（水）

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、前回に引き続き Zoom を使い、オンラインで研修を行いました。

## ○ 説明「遊びの中で育つ子どもたち」 栃木県幼児教育センター 幼児教育指導員 小倉 庸寛 先生



「家庭教育オピニオンリーダー」として家庭教育支援の活動に携わっていく上で必要となる知識や理解を深めることを目的とし、栃木県幼児教育センター幼児教育指導員の小倉先生の講話を聞きました。

最初に、子ども子育て支援新制度の取組についての説明を受けました。次に、幼児期の子どもの特徴について、3歳～5歳の年齢ごとに、実際の姿も動画等で確認しながら説明を聞きました。そして、「幼児期の終わりまでに育ってほしい具体的な姿」を図で確認した後、小倉先生が経営されるこども園の先生方が、子どもたちのよりよい発達・成長のために、実際に意識して実践されていることについて話を聞きました。

この中で小倉先生からは、自尊心や自立心、協調性や思いやりなど、いわゆる「非認知」的な心の力を高めていくためには、子どもたちと愛着関係を築くことが大切であること、そのために笑顔が心がけ、子ども一人一人を尊重し、受容的に関わることの重要性が示されました。

最後に、日常の「生活」や「遊び」を通して様々な事を学んでいく幼児期の子どもの様子を動画で確認しました。また、まとめとして、幼児期の学習経験（「遊び込む」経験）の充実が小学校以降の「学びに向かう力」を高めていく、という話がありました。



## ○ 事例発表・座談会「家庭教育オピニオンリーダーの活動について」

栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会長 松岡 あゆみ 氏  
事務局長 高久 厚子 氏  
同

栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会の活動について、松岡氏と高久氏から説明がありました。まず、松岡氏から、連合会が発足から30年を超える歴史ある組織として、子育て・人づくり・地域づくりを目標に活動していること、県内8ブロック34支部が、それぞれの得意とする分野で、また地域からの要望に応じて、地域に根づいた活動を展開していること等について説明がありました。

続いて、松岡、高久両氏から、資料を基にした各支部での最近の活動内容についての説明がありました。コロナ禍の現在においても、それぞれの支部が、行政や他団体と連携しながら、小学校での親学習プログラムや児童福祉施設での絵本の読み聞かせ等を実施したり、家庭教育支援者としての力を高めるための研修会を催したりしているとの報告があり、受講者は熱心に耳を傾けていました。

また、その後の座談会は、県北・県央地区と県南地区の2グループに分かれて行われ、受講者が事前の説明で疑問に思ったことや、さらに詳しい説明を聞きたかったこと等について、連合会のお二人や各教育事務所の社会教育主事などに質問していく形式で進められました。考えたことや疑問に感じたことを自由に述べ合える時間となり、受講者は、家庭教育オピニオンリーダーの活動について、認識を深めることができた様子でした。



## ☆受講者の声（アンケートから）

- ・ 幼児教育の大切な観点を改めて気づかせていただきました。我が家の子どもに対しても、考えさせられる内容だったので、ママ友ともこの観点を共有していきたいと考えております。
- ・ 幼児期に意欲を育てることの大切さを実感しました。そのために私達がどんな支援を子ども達にしたらよいか、ということも学びました。
- ・ 各地区でどのような活動がされているのかを知ることができました。各地区でのそれぞれのニーズに合った活動がされていて素晴らしいなと思いました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで  
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp